

(様式)

令和8年度 日本文化部の指導方針等について

令和8年5月27日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	永井 三恵子	滝沢 咲子	裏千家師範	週1回
副顧問	今井 陽子	酒井 澄	山田流・生田流箏曲師範	週1回
副顧問	瀧澤 章代	高橋 幸子	小原流師範	月2回

2 年間目標

- (1) 茶道、箏曲、華道の基本的な技術、作法を学ぶ。技術だけでなく季節感、道具の知識、歴史等についても学び日本の伝統文化を理解する。
- (2) 相手への尊敬や思いやりを育み、「おもてなし」のところで接することのできる人になる。

3 指導方針

- (1) 練習は、月曜：箏曲、水曜：茶道、金曜：華道とし、2時間程度集中して行う。
- (2) 校内外での発表の機会をとおして普段の練習の成果を試し、更なる技術の向上を図る。
- (3) 挨拶の励行、正しい言葉遣いをし、部員同士がお互いを敬い、尊重できる人間関係を作る。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
「おもてなし」のころを学ぶにあたっては、体罰、暴言は最もふさわしくない指導と考える。顧問、外部指導員、生徒、保護者で体罰、暴言のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生の下級生への接し方、同学年同士のコミュニケーションの取り方において、暴言や相手を傷つける言動のないよう、日頃から目をくばり、稽古を通して身につけさせる。
- (3) 外部指導員の活用  
茶道、箏曲、華道のそれぞれの分野の専門家の先生方に流派の基本を指導していただく。技術はもちろん、目上の方との接し方についても学んでいく。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	部活動紹介 新入生に基本的な作法、お手前（盆略）を教える
	5	文化祭に向け、お手前の技術を高めるとともに、各学年が箏曲の曲目を決め、本格的な練習に取り組む。
	6	小原流生け花競技会
	7	学校見学会における華道作品展示 小原流立川支部 みんなの花展（プリもホールゆとろぎ）
	8	数寄屋袋制作 浴衣の着方練習 都立高校夏祭り（華道）
2 学期	9	文化祭でのお点前披露、箏曲発表、華道作品展示
	10	東京大茶会
	11	学校説明会における華道作品展示
	12	東京都文化連盟茶道部門「冬の茶会」
3 学期	1	初釜 日本文化室障子張り替え
	2	
	3	卒業茶会 新入生歓迎会準備